

所”に値が表示される。[OK]をクリックすると、シート3に空のピボットテーブルが作成される。

④シート3の右側に表示される [ピボットテーブルのフィールドリスト] の “商品名” を行ラベルのフィールドに、“設置場所” を列ラベルのフィールドにそれぞれドラッグする。さらに、“売上数” を “値” のフィールドにドラッグする。

⑤シート2のセルA3～E101を再度選択する。

⑥[挿入]→[ピボットテーブル]→[ピボットテーブル]の順にクリックし、“既存のワークシート” をチェックし、“場所” の右端にあるボタンをクリックする。

⑦シート3のセルA14を選択し、右端のボタンをクリックすると、“場所” に値が表示される。[OK]をクリックすると、シート3に空のピボットテーブルが作成される。

⑧シート3の右側に表示される [ピボットテーブルのフィールドリスト] の “種類名” を行ラベルのフィールドに、“売上数” を “値” のフィールドにそれぞれドラッグする。

⑨以上で、クロス集計表が完成する。

<シート4>

(1) [1. 商品別売上集計表]

①B7～B13：シート3のセルA5～A11をコピー

C7～C13：シート3のセルB5～B11をコピー

D7～D13：シート3のセルC5～C11をコピー

E7～E13：シート3のセルD5～D11をコピー

②F7：=VLOOKUP(B7,シート1!\$B\$9:\$C\$15,2,FALSE)
(セルF8～F13にコピー)

③G7：=E7*F7 (セルG8～G13にコピー)

④C14：=SUM(C7:C13) (セルD14～E14, G14にコピー)

(2) [2. 種類別売上数集計表]

①C18～C20：シート3のセルB15～B17をコピー

②C21：=SUM(C18:C20)

(3) [種類別売上数の割合]の円グラフ

円グラフの作成手順は、次のとおりである。

① セルB17～C20を選択

② [挿入]→[円]→“2-D円”の[円]の順にクリックする。
これで、円グラフが表示される。

③ 凡例を右クリックし、[削除]をクリックする。これで、凡例が非表示になる。

④ “売上数合計”と表示されているタイトルをクリックし、さらにクリックして、“種類別売上数の割合”に修正する。
修正後、グラフエリア外をクリックする。

⑤ グラフエリアをクリックし、[レイアウト]→[データラベル]→[外部]の順にクリックする。これで、円グラフの外側に数値が表示される。

⑥ グラフ外の数値のいずれかを右クリックし、[データラベルの書式設定]→[ラベルオプション]の順にクリックする。次に、“ラベルオプション”の“分類名”、“パーセンテージ”をチェックし、“値”のチェックを外す。さらに、左側のメニューの[表示形式]をクリックし、“パーセンテージ”をクリックして“小数点以下の桁数”を“1”にして[閉じる]をクリックする。これで、分類名と百分率が表示される。分類名と百分率が枠で囲まれていれば、グラフエリア外をクリックする。

⑦ 以上で、グラフが完成したので、このグラフを適切な位置に移動するとともに、適切に縮小する。

(4) [3. ABC分析表]

①B30～B36：B7～B13をコピー

C30～C36：G7～G13をコピー

② [30～36行目のデータを売上金額の降順に並べ替え]

(a) B29～C36を選択

(b) [データ]→[並べ替え]の順にクリック

(c) “最優先されるキー”に“売上金額”を左端のリストボックスから選択

(d) “順序”のリストボックスから“降順”を選択し[OK]をクリック

③C37：=SUM(C30:C36)

④D30：=C30/\$C\$37

(セルD31～D37にコピー、書式は小数点以下1けたのパーセンテージ)

⑤E30：=SUM(\$D\$30:D30)

(セルE31～E37にコピー、書式は小数点以下1けたのパー

センテージ)

⑥F30：=IF(E30<=70%,"A",IF(E30<=90%,"B","C"))

(セルF31～F37にコピー)

⑦E39：=COUNTIF(F30:F37,"A")

(5) [売上金額のパレート図]のグラフ

B29 パレート図の作成手順は、次のとおりである。 E29

① セルB30～C36, E30～E36を選択

② [挿入]→[折れ線]→“2-D折れ線”の[マーカー付き折れ線]の順にクリックする。これで、2つの折れ線グラフが表示される。

③ 売上金額の折れ線グラフの線上のいずれかを右クリックし、[系列グラフの種類の変更]をクリックする。表示された“グラフの種類の変更”ウィザードで、左側のメニューの[縦棒]をクリックし、[集合縦棒]→[OK]の順にクリックする。これで、売上金額が縦棒グラフになる。

④ 累計比率の折れ線グラフの線上のいずれかを右クリックし、[データ系列の書式設定]→[系列のオプション]の順にクリックして“第2軸(上/右側)”をチェックし[閉じる]をクリックする。これで、問題の例示のように右上がりの折れ線グラフになる。

⑤ 累計比率の折れ線グラフが選択された状態のまま、[データラベル]→[上]の順にクリックする。これで、累計比率の数値がグラフの上に表示される。

⑥ 凡例を右クリックし、[凡例の書式設定]→[凡例のオプション]の順にクリックする。“凡例のオプション”の“下”をチェックし[閉じる]をクリックする。これで、凡例がグラフの下に表示される。

⑦ 横軸目盛り線のうち、x軸以外の任意の線を右クリックし、[削除]をクリックする。これで、目盛り線が非表示になる。

⑧ グラフエリアをクリックし、[レイアウト]→[グラフタイトル]→[グラフの上]の順にクリックする。グラフの上方に“グラフタイトル”と表示されるので、この部分をクリックし、“売上金額のパレート図”に修正してグラフエリア外をクリックする。これで、タイトルが表示される。

⑨ グラフエリアをクリックし、[レイアウト]→[軸ラベル]→[主縦軸ラベル]→[軸ラベルを垂直に配置]の順にクリックする。グラフの左側に“軸ラベル”と表示されるので、この部分をクリックし、“売上金額”に修正してグラフエリア外をクリックする。これで、左側の軸ラベルが表示される。

⑩ グラフエリアをクリックし、[レイアウト]→[軸ラベル]→[第2縦軸ラベル]→[軸ラベルを垂直に配置]の順にクリックする。グラフの右側に“軸ラベル”と表示されるので、この部分をクリックし、“累計比率”に修正してグラフエリア外をクリックする。これで、右側の軸ラベルが表示される。

⑪ グラフの左側の数値を右クリックし、[軸の書式設定]→[軸のオプション]の順にクリックする。次に、以下のように設定して[閉じる]をクリックする。これで、問題の例示のように、軸の値が表示される。

・“最小値”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“0”を入力

・“最大値”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“50000”を入力

・“目盛間隔”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“10000”を入力

⑫ グラフの右側の数値を右クリックし、[軸の書式設定]→[軸のオプション]の順にクリックする。次に、以下のように設定して[閉じる]をクリックする。これで、問題の例示のように、軸の値が表示される。

・“最小値”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“0”を入力

・“最大値”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“1”を入力

・“目盛間隔”：“固定”をチェックし、テキストボックスに“0.2”を入力

⑬ 棒グラフの分類(葉の茶、午後茶など)をいずれかの文字を右クリックし、[軸の書式設定]→[配置]の順にクリックする。“配置”の“文字列の方向”の[縦書き]をクリックし、[閉じる]をクリックする。これで、水平方向、または斜めに表示されていた分類名が縦書きに表示される。

⑭ 以上で、グラフが完成したので、このグラフを適切な位置に移動するとともに、適切に縮小する。